

令和七年度「国語」問題出題意図等

※【出】は「出題意図」を、【解】は「解答又は解答例」を表す。

一

問一 【出】漢字および語彙の理解力と知識とを問う。読みから文脈にふさわしい語彙を選ぶことができるか、その語彙を適切に漢字で表記できるかどうかを評価する。

【解】1：文壇 2：難航 3：戯曲 4：快

問二 【出】文章の読解において、筆者の考えを、前後の文脈を手掛かりにして推定する力を問う。

問三 【出】文章の意味を理解しているかどうかを問う。

問四 【出】筆者の見方を理解しているかどうかを問う。

問五 【出】論全体を把握したうえで、筆者の意見を把握できているかどうかを問う。

二

【出】筆者の論を正確に理解できているかどうかを問い、わかりやすく文章をまとめる能力がどの程度であるかを見る。

三

問一 【出】古典の基本的知識をふまえ、現代語訳できるかどうかを問う。

問二 【出】文脈が把握できているかを問う。

問三 【出】前後の流れをふまえ、筆者の見解が把握できているかを問う。

問四 【出】文章全体の主旨を把握したうえで、登場人物の言葉の根拠を問う。

四

問一 【出】基本的な漢文訓読の知識を問う。

【解】1：しばしば 2：と

問二 【出】訓読の力を問う。

問三 【出】口語訳の力を問う。

問四 【出】文章全体の流れを把握したうえで、結末部が理解できるかどうかを問う。

出典

一 柄谷行人『日本精神分析』

二 安藤宏 『「私」を作る 近代小説の試み』

三 千家尊澄『松壺文集』

四 『三国志』